

公式プログラム
Official Program

全国のトップライダーが
和寒に集結！

全日本トライアル選手権
第4戦北海道・和寒大会

TRIAL 2025 R4/7.13

ROUND

SUN.

わっさむサーキット

北海道 上川郡 和寒町 三笠
雨天決行



主催 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
株式会社モトスポーツプロモーション
主催協力 MFJ 北海道地区トライアル部会
後援 和寒町、A/J北海道・北海道二輪車商業協同組合

なにもないけど
いくつか楽しい！！
和寒／わっさむ

What's some
WASSAMU



大会名誉会長
和寒町長 奥山 盛

北海道・和寒大会歓迎のご挨拶

自然の恵み豊かな道北の地、ここ和寒町において「2025 全日本トライアル選手権第4戦北海道・和寒大会」が盛大に開催されますことにお祝いを申し上げますとともに、全国各地から参加される皆さまを心から歓迎いたします。

わっさむサーキットでの開催については、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会をはじめ関係各位の特段にご高配により平成 11 年から始まり、今年で 25 回目を迎えることができました。

貴協会におかれましては、これまでモーターサイクルスポーツの普及のみならず、青少年の健全育成と交通安全の意識の高揚にも寄与され、さらに開催地における地域振興や活性化にもご貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

当町では、昭和 58 年に「スポーツのまち」を宣言して以来、これまで様々なスポーツイベントを開催してきておりますが、こうしたイベントを町おこしの一環と捉え情報を積極的に発信しながら、町民一丸となって元気なまちづくりに取り組んでおり、今後も選手権の開催にあたっては、引き続き連携させていただきたいと存じます。

各クラス熾烈な順位争いを繰り広げられておりますが、選手の皆さまにおかれましては、日ごろの練習の成果をいかに発揮され、無事に大会が開催されますことを期待しております。

むすびに、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会の益々の発展と、本選手権が今後も末永く続けられますことを心からご祈念申し上げ、歓迎のあいさついたします。



一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
会長
鈴木 哲夫

北海道・和寒大会開催によせて

2025 年全日本トライアル選手権第 4 戦北海道・和寒大会によるこそ越しくださいました。今年も再びわっさむサーキットにて全日本トライアル選手権を開催できることは喜びに堪えません。和寒町はじめとした地域の皆さま、ご協賛各社、北海道地区トライアル部会の方々に感謝申し上げます。

全日本トライアル選手権は全国を転戦して日本一を決める大会で、小学生からアクティブシニアまで幅広い世代が出場しております。また、トライアルはライダーとマシンが一体となって、超絶なバランスと体力、技術でセクションと呼ばれる採点区間をいかにミスなく走破できるかを競う競技です。その卓越した技術でセクションを走破していく姿はきっと、観客の皆さまに驚きと感動を与えることでしょう。ライダーは今大会のために日々練習を積み重ねてきましたので、観客の皆さまにおかれましてはぜひたくさんの応援をお願いいたします。なお、この季節は気温が高くなりますので、こまめに水分補給をするなどの熱中症対策をお願いいたします。

ご出場いただくライダー、アシスタントの皆さまにおかれましては日頃の練習の成果を十分に発揮し、熱戦を繰り広げていただきたいと思います。選手、アシスタント、チーム関係者のご健闘をお祈りするとともに、本大会の開催にあたりご協力を賜りました和寒町、ご協賛各社、北海道トライアル部会、関係者の皆さま方に深く感謝を申し上げ、大会の成功を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

タイムスケジュール

MFJ公式インフォメーション、
リザルト、レポートは
こちらをご覧ください。

<https://mspro.jp/trj/>



- 8:00 ~ オープントロフィー NA / 国際B級 スタート (1分おき1台)
 8:40 ~ レディース スタート (1分おき1台)
 8:45 ~ 国際A級 スタート (1分おき1台)
 9:15 ~ 国際A級スーパー スタート (1分おき1台)
 14:20 ~ 国際A級スーパー 上位10名によるスペシャルセッション (SS) スタート・2セッション
 15:20 ~ 大会式典、表彰式

※タイムスケジュールは、天候その他の理由により変更される場合があります。

競技方式

- 国際A級スーパー 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分 + SS×2 セクション
 国際A級 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分
 レディース 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分
 国際B級 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分
 オープントロフィー NA .. 10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分

北海道・和寒大会審査委員会 実行役員 組織図

大会名誉会長	奥山 盛 (和寒町長)	進行長	佐野 勇一	オブザーバー	中村 高義	佐賀 平八郎	山下 国江
大会会長	鈴木 哲夫 (MFJ会長)	進行	小野寺 修二 村井 陽香	大沢 光博	桜田 一市	齋藤 由佳里	
審査委員長	丸山 胤保		佐藤 裕二 皆川 寛紀	小笠原 利美	阿部 嘉寛	桜 玲子	
審査委員	西 英樹 米沢 満夫	車検長	田中 勉	黒川 雅彦	安田 純	朝倉 宏幸	
競技監督	山田 淳二	車検	渡辺 清 大同 清志	相馬 敏幸	矢野 正幸	伊藤 優希	
セッション査察	山本 昌也	保安	藤田 高 竹本 栄三	池尻 美枝子	福本 直人	吉川 直紀	
審判長	西山 裕之	計時	堀野 日奈子 山田 寿枝	渡邊 弘巳	小出 修	添田 貴嗣	
		カード管理	田中 文子 小倉 綾	工藤 哲哉	石崎 享	菊谷 賢一	
		入場管理	小林 隆寿 加藤 美津子	高橋 るみ	渡邊 秀人	萱原 孝行	
		駐車場管理	松浦 浩二 篠井 巨人	山下 大作	小倉 篤子	猪股 進二	
		MC	間野目 聖子			佐々 宜弘	
		メディカル (看護師)	佐賀 二三子				
		MFJ事務局	保田 奈那				
		MSP事務局	岩田 稔 平地 直樹				
			船戸 進				
			平野 真弓				

■ 後援各社 (順不同・敬称略)

和寒町、AJ 北海道・北海道二輪車商業協同組合

■ ご協賛各社 (順不同・敬称略)

ヤマハ発動機株式会社 / ヤマハ発動機販売株式会社 / ホンダドリーム / 株式会社ダンロップタイヤ / 井上ゴム工業株式会社 / Betamotor Japan / SHERCO JAPAN & SCORPA JAPAN / 株式会社ヴィクトリー / AUTO TECHNIC JAPAN / 有限会社エトスデザイン / 株式会社力造 (ばわあくらふと) / 株式会社トライボジャパン / SENA / 株式会社ミタニ / オートショップサイトウ / 株式会社アメヤマモーターサイクル / モトライフ / 北海道新聞酒屋販売所 / セブンイレブン和寒町店 / 花 JIN / 有限会社和寒自動車工業 / 平和軒 / 旭川トライアルクラブトレーニングゾーン / ゲストハウスセキレイ館 / 株式会社丸メ商会 / 有限会社酒向自動車工業

SENA





ヤマハTY-Eに乗って3年目の黒山健一。ようやくTY-Eで初勝利を挙げ、この1戦が天王山となる。

全日本トライアル選手権 第4戦 北海道・和寒大会

ランキングトップは黒山健一 この流れが進むか、変わるか

日本全国をめぐって競われる全日本選手権。流れの鍵を握るのが、この大会だ——

IA 国際A級スーパー

この12年間、全日本選手権の覇権は小川友幸が握り続けている。黒山健一、野崎史高、氏川政哉などが、小川の牙城を崩さんと猛追したシーズンもあれど、最後に笑ったのはいつも小川だった。今シーズン、小川はフィジカル・コンディションが完調ではなく、苦しい戦いが続いている。しかしこれまでの小川の強さを思うと、勝負は最後までわからないと痛感させられる。小川の強さは、今年もまた発揮されるにちがいない。

電気バイクでの3年目のシーズンを迎えた黒山健一は、第3戦で電気バイクでの初めての勝利をつかんだ。戦力未知数のTY-Eを全日本に持ち込んだ日から苦労を続けてきた黒山にとって、うれしいうれしい勝利だった。そしてまた、この勝利で黒山はランキングトップに出た。優勝1回2位2回という成績は、今シーズンもっとも好結果でもつ

とも安定している。13年目のタイトル獲得に向けて、その歩みは順調だ。

台風の目は、ヤングライダー氏川政哉だ。氏川こそ、TY-Eを初優勝させ、去年の北海道・和寒大会の勝利者でもある。初のチャンピオンを目指す氏川にとって、北海道以降で調子を落とすことが多い。ここで勝って、さらにその後へのはずみをつけたい、大事な1戦となる。

ここまでの3戦、勝利したのはこの3人だが、表彰台に乗ったのはさらに二人。ホンダの久岡孝二とヤマハの野崎史高がその二人だ。さらに小川毅士（ベータ）、武田呼人（ホンダ）、柴田暁（TRRS）も、勝利争いの有力候補だ。

2026年、IASに残るのはランキングのトップ10のみとの規則が敷かれた。タイトル争いをするライダーにとって、ボーダーラインにいるライダーにとって、シーズン争いは激戦が続く。



連覇を続ける小川友幸は、苦しい戦いが続くも、黒山に10ポイント差のランキング2位を堅持している。



TY-E 3.0に乗る二人目のライダーが若い氏川政哉。氏川も、チャンピオン有力候補のひとり。



第3戦で表彰台に乗った野崎史高は大げからのリハビリ中。マシンはTY-E 2.2での参戦となっている。

全日本トライアル選手権は4戦目。北海道・和寒がターニングポイントになる。 シーズン中盤、各クラスの戦況を考察する

IA 国際A級

高橋寛冑、IA チャンピオンに躍進中 ベテランに混ざり若手もこれを追撃

IA 昇格 5 年目の高橋寛冑が、今シーズンは快調に勝ち進んでいる。第2戦では表彰台に乗り損ねたが、開幕戦と第3戦で勝利して、シリーズランキングのトップに立つ。このままトップをつき進むか、注目の若手だ。

第2戦で勝利した小野貴史をはじめ、平田雅裕など、このクラスのトップはベ

テラン勢がひしめく。若手はぶ厚い壁を貫いて上位に進む必要がある。

高橋の他にも、注目の若手は育っている。中学生コンビ、永久保圭と黒山太陽も次なるトップを目指して、このクラスでの戦い方を修業中だ。

ベテランと若手、個性と個性のぶつかり合いが、大きな魅力だ。



高橋寛冑、神奈川県出身の22歳。SSDTへの参戦も果たし、経験値を確実に増やしている。

LTR レディース

中川瑠菜の連勝続く レディースの新しい風が吹く

シリーズを戦う4人、中川瑠菜、小玉絵里加、兼田歩佳、齋藤由美に加え、岩手からのスポット参戦の木村亜紀の5人がエントリーの今大会。

今シーズンはここまでの3戦をすべて中川が制して、その強さは安定している印象だが、レディースクラス創設以来全戦に参加し、クラス全体のパワー

アップに尽力する小玉と、めきめき実力を伸ばしている兼田、IBに昇格するも、このクラスではまだ実力を発揮できない齋藤のうまさも注目どころ。それぞれの走りの個性が見て取れば、観戦もいっそう楽しいはず。

若手の中川、兼田は、お父さんがアシスタントの親子コンビで戦う。



2023年中部NAチャンピオンにしていまだ進化中のIBライダー、中川瑠菜。中部選手権ではIBクラスを走っている。

IB 国際B級

2025年は若手の争い。寺澤迪志と 木村倭がシリーズをリードする

ランキングトップの寺澤迪志と2位の木村倭は、それぞれトライアル一家に育った。寺澤はIASも走った寺澤慎也を父に持つ。木村は初代全日本チャンピオン木村治男の孫にしてIA木村大輔を父とする。どちらも10代選手だが、寺澤はまだ13歳の中学生だ。ランキング3位の岡直樹も、同い年の

13歳。今シーズンは若手が大活躍。日本の将来も楽しみだ。

今大会、IBクラスは36名が参加する。うち、2025年にポイントを獲得しているのは11名。ポイント圏残り4枠を狙う争いも熾烈なものになりそう。ランキングも3位以降はなかなかの大接戦となっている。



毎戦のように成長が見られる若い寺澤。第3戦を欠場して世界選手権T3(125ccクラス)に参戦してきた木村との戦いが見ものだ。

第3戦 もてぎ大会終了時点のポイントランキング

IAS 国際A級スーパー

順位	ゼッケン	選手	マシン	チーム名	R1 愛知・岡崎		R2 大分・玖珠		R3 もてぎ		R3 までの 合計獲得 ポイント	R4 北海道・和寒		合計P
					順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント	順位	獲得ポイント		順位	獲得ポイント	
1	2	黒山 健一	ヤマハTY-E 3.0	Yamaha Factory Racing Team	2	20	2	20	1	25	65			
2	1	小川 友幸	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	1	25	6	10	2	20	55			
3	3	氏川 政哉	ヤマハTY-E 3.0	Yamaha Factory Racing Team	3	16	1	25	4	13	54			
4	8	野崎 史高	ヤマハTY-E 2.2	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	4	13	5	11	3	16	40			
5	4	小川 毅士	ベータ EVO 2T	Wise Beta Racing	5	11	4	13	6	10	34			
6	9	久岡 孝二	ホンダ RTL301RR	HRC クラブ MITANI	10	6	3	16	7	9	31			
7	7	武田 呼人	ホンダ RTL301RR	TEAM MITANI Honda	6	10	7	9	8	8	27			
8	6	柴田 暁	TRRS ONE RR	TEAM TRRS & NILS OIL	8	8	9	7	5	11	26			
9	12	田中 善弘	ホンダ RTL301RR	HRC クラブばわくらふと & ホンダドリーム八尾	7	9	8	8	9	7	24			
10	11	武井 誠也	ベータ EVO 2T	Finemotorschool&swm&Beta	9	7	10	6	12	4	17			
11	14	野本 佳章	ベータ EVO 2T	モトベント & BETA	-	-	11	5	11	5	10			
12	22	宮澤 陽斗	ベータ Evo2T	Wise Beta Racing	16	0	13	3	10	6	9			
13	15	浦山 瑞希	ホンダ RTL301RR	HRC クラブ MITANI & 荘内	11	5	14	2	17	0	7			
14	17	平田 雅裕	スコルバ SC 300	チームエクセル	12	4	15	1	15	1	6			
15	13	岡村 将敏	シェルコ STR	TEAM TOPDOGS	13	3	17	0	13	3	6			
16	20	磯谷 郁	ベータ Evo2T	Beta TRProduct	15	1	12	4	16	0	5			
17	16	磯谷 玲	ベータ Evo2T	Beta TRProduct	14	2	16	0	14	1	4			

IA 国際A級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3 までの 合計獲得 ポイント	R4 北海道・和寒		合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P	
1	7	高橋 寛芽	シェルコ	1	25	6	10	1	25	60			
2	3	小野 貴史	ホンダ	3	16	1	25	4	13	54			
3	1	平田 貴裕	スコルバ	4	13	2	20	2	20	53			
4	4	本多 元治	ホンダ	2	20	-	-	3	16	36			
5	8	村田 慎示	ホンダ	5	11	8	8	6	10	29			
6	02	永久保 圭	ベータ	12	4	3	16	8	8	28			
7	15	黒山 太陽	シェルコ	8	8	5	11	10	6	25			
8	2	砂田 真彦	ホンダ	9	7	9	7	5	11	25			
9	6	中里 侑	TRRS	6	10	4	13	15	1	24			
10	21	小野田 理智	シェルコ	7	9	11	5	17	0	14			
11	17	小谷 徹	ホンダ	-	-	7	9	12	4	13			
12	18	森岡 慎哉	ホンダ	-	-	-	-	7	9	9			
13	33	村田 隼	ヴェルティゴ	13	3	10	6	23	0	9			
14	9	尾藤 正則	シェルコ	R		16	0	9	7	7			
15	12	坂井 翔	TRRS	15	1	12	6	14	2	7			
16	14	高橋 健啓		10	6	-	-	-	-	6			
17	34	鈴木 克敏	ホンダ	19	0	15	1	11	5	6			
18	13	小椋 陽	シェルコ	18	0	13	3	13	3	6			
19	43	粕谷 直樹		11	5	-	-	-	-	5			
20	03	陳 文懋	ホンダ	16	0	14	2	20	0	2			
21	10	木下 裕喜	ベータ	14	2	-	-	18	0	2			

2025 全日本トライアル選手権 開催スケジュール

R1	愛知・岡崎	4/13	キョウセイドライブバーランド
R2	大分・玖珠	4/27	玖珠トライアルヒルズ
R3	もてぎ (栃木)	6/8	モビリティリゾートもてぎ
R4	北海道・和寒	7/13	わっさむサーキット
R5	広島・三次灰塚	9/7	灰塚ダムトライアルパーク
R6	宮城・SUGO	10/5	湯浅トライアルパーク
R7	和歌山・湯浅	10/26	スポーツランド SUGO
R8	City Trial Japan	11/2	調整中 (IASのみ)

ランキング表の作り方

全日本選手権では1位から15位までに、順位に応じたランキングポイントが与えられる。獲得ポイントを集計して、ランキング順位が決定するが、同点の場合、最上位成績のよい者が上位、さらに同順位の場合は、直近大会の成績がよい者が上位となる。最終ランキングは委員会が精査して決定、発表される。

◎順位により取得できるポイント・1位 25P / 2位 20P / 3位 16P / 4位 13P / 5位 11P / 6位 10P / 7位 9P / 8位 8P / 9位 7P / 10位 6P / 11位 5P / 12位 4P / 13位 3P / 14位 2P / 15位 1P /

LTR レディース

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3 までの 合計獲得 ポイント	R4 北海道・和寒		合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P	
1	2	中川 瑠菜	ベータ	1	25	1	25	1	25	75			
2	4	小玉 絵里加	TRRS	2	20	3	16	2	20	56			
3	10	兼田 歩佳	TRRS	3	16	2	20	5	11	47			
4	5	齋藤 由美	ベータ	4	13	5	11	4	13	37			
5	13	寺澤 心結	ベータ	5	11	-	-	3	16	37			
6	3	ワタナベ 功加	TRRS	R		4	13	6	10	23			
7	6	寺田 智恵子	TRRS	7	9	-	-	7	9	18			
8	7	中澤 瑛真	ベータ	7	9	-	-	8	8	18			
9	12	清水 さやか	ホンダ	8	9	-	-	9	7	15			

IB 国際B級

順位	ゼッケン	選手	マシン	R1		R2		R3		R3 までの 合計獲得 ポイント	R4 北海道・和寒		合計P
				順位	獲得P	順位	獲得P	順位	獲得P		順位	獲得P	
1	3	寺澤 連志	ベータ	5	11	2	20	1	25	56			
2	37	木村 優	シェルコ	2	20	1	25	-	-	45			
3	49	岡 直樹	ベータ	1	25	18	0	-	-	25			
4	4	西村 健志	TRRS	15	1	8	8	3	16	25			
5	8	小倉 功太郎	ホンダ	7	9	10	6	6	10	25			
6	89	山口 太一	シェルコ	3	16	-	-	8	8	24			
7	1	大櫃 千明	モンテッサ	10	6	7	9	5	11	22			
8	106	大内 朋幸	ヴェルティゴ	-	-	-	-	2	20	20			
9	5	林 大作	TRRS	12	4	3	16	-	-	20			
10	58	青山 宏	ホンダ	9	7	4	13	33	0	20			
11	20	西 宏次	モンテッサ	42	0	7	9	7	9	18			
12	67	鈴木 崇史	ベータ	11	5	6	10	23	0	15			
13	28	関口 匠	モンテッサ	-	-	-	-	4	13	13			
14	17	元吉 裕一	ホンダ	4	13	-	-	-	-	13			
15	98	梶山 政登	シェルコ	-	-	23	0	5	11	11			
16	71	西澤 明人	ホンダ	46	0	5	11	50	0	11			
17	24	中村 雄樹	GASGAS	8	8	-	-	17	0	8			
18	42	袋井 椋介	シェルコ	24	0	-	-	9	7	7			
19	15	三好 弘祐	GASGAS	28	0	19	0	10	6	6			
20	51	三好 一也	TRRS	10	6	-	-	-	-	6			
21	12	天田 昇平	TRRS	14	2	-	-	12	4	6			
22	7	米澤 健	ホンダ	R	0	11	5	28	0	5			
23	103	島田 武男	TRRS	-	-	12	4	-	-	4			
24	108	三瓶 宏和	ベータ	-	-	-	-	13	3	3			
25	64	田中 聖志	ベータ	47	0	13	3	38	0	3			
26	73	山下 修	スコルバ	13	3	-	-	35	0	3			
27	21	奥田 欽哉	TRRS	53	0	22	0	14	2	2			
28	10	後藤 研一	GASGAS	-	-	14	2	-	-	2			
29	117	宮川 崇	スコルバ	-	-	-	-	15	1	1			
30	101	坂井 結太	シェルコ	-	-	15	1	18	-	1			

1

小川 友幸

Tomoyuki OGAWA / Honda



12 連覇 V14。48歳で最年長勝利記録も保持。デモンストレーションにスクール、バイクによる災害支援、動画配信とトライアル各方面に大活躍の三重県四日市出身。全日本勝利数は58勝を数える。

2

黒山 健一

Kenichi KUROYAMA / YAMAHA



11 回の全日本タイトルホルダー。日本人初の世界選手権勝利者となったレジェンド。電動マシンでの全日本挑戦3年目、第3戦もてぎでTY-Eでの初勝利を得た。全日本94勝。兵庫県川西市出身、46歳最後の一戦。

3

氏川 政哉

Seiya UJIKAWA / YAMAHA



三重県四日市出身の22歳。自転車、TRGC、IB、IAとチャンピオンを総なめ、2018年からIAS、2024年からヤマハTY-Eに乗り、IASでのEV初勝利をあげ、これまでの7勝のうちEVで3勝しているEV最強男。

4

小川 毅士

Tsuyoshi OGAWA / Beta



全日本勝利経験のあるひとりで、トップ争いに欠かせぬキャラ。卓越した技術が光る38歳。茨城県オフロードパークSHIRAIの管理人でもある。2連勝したトライアル・デ・ナシオン日本代表のメンバー。

6

柴田 暁

Akira SHIBATA / TRRS



IAS唯一のTRRS乗りも4年目になる。頂点を目指しつつも、大会やスクールの主催にも積極的に取り組む36歳の大阪人。今シーズンは、歯車が噛みあわずにいたが、徐々にペースを取り戻している。

7

武田 呼人

Yohito TAKEDA / Honda



2019年IAチャンピオン。3年間のスペイン修業を経て、自身初めてのIASシーズンは表彰台にも乗った。シーズンオフにひざの手術を受けたが、今年は心機一転Hondaに乗る三重県多気町出身の23歳。

8

野崎 史高

Fumitaka NOZAKI / YAMAHA



自転車、2002 FIMジュニアカップ、全日本IAとタイトルを獲得。昨年この大会でひざを負傷シーズン後半を休むも、第3戦もてぎでは3位表彰台を獲得した。全日本勝利は11勝。埼玉県小川町出身、41歳。

9

久岡 孝二

Koji HISAOKA / Honda

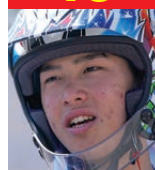


Hondaに乗り換えての戦いも4年目の2016年IAチャンピオン。うまざとものさもち、苦戦すること多かったが、今年第4戦で自身最上位となる3位表彰台を獲得した。岐阜出身25歳。

10

黒山 陣

Jin KUROYAMA / Sherco



2023年IAクラスチャンピオン。黒山健一のアシスタント2郎の次男で、IAの太陽の兄。アシスタントの陸一は兄。兵庫県出身16歳なりて。今シーズンはトライアルGP T3 (125cc)に参戦している。

11

武井 誠也

Masaya TAKEI / Beta



2018年IAチャンピオン。IAS昇格後はランキング10位以内を守り、SS常連の全日本のレギュラーメンバー。現在までの最上位は7位。山梨出身の28歳は、今年はマシンを乗り換えて、さらに上位を狙う。

12

田中 善弘

Yoshihiro TANAKA / Honda



久々にIASに復帰した石川県の48歳が、トップ10の記録を残した。IAでは2度のチャンピオンを獲得。IB時代には藤波貴久を破った実績もある。小川友幸とは同年代同期のチームメイトだった。

13

岡村 将敏

Masatoshi OKAMURA / Sherco



IAS最年長栃木県出身49歳。茨城県真壁トライアルランドを拠点に、若手や入門ライダーの育成に尽力している。2015年IAチャンピオン。関東シェルコライダーの筆頭株として、若手に負けじとがんばる。

14

野本 佳章

Yoshiaki NOMOTO / Beta



群馬県出身の37歳。日本で最初にバックフリップをマスターし、現在の職業はオートレーサー、そしてトライアルライダー。オートレースの合間に全日本に参戦、去年は2戦出場最上位は9位だった。

15

浦山 瑞希

Mizuki URAYAMA / Honda



2023年、IAランキング3位を得てIASに進出した山形県出身の17歳。2024年は初めてのIAS参戦で難セクションに挑み、7戦中3戦でポイントを獲得、ランキング15位。開幕戦では11位に入った。

16

磯谷 玲

Akira ISOGAYA / Beta



静岡で小学校の先生を務める29歳。IAS昇格8年目。そのトライアルスタイルは独特で見ていて楽しい。2024年は負傷で欠場が続いたが、元気に復帰。父、姉、弟と一家まるごとトライアルライダー。

17

平田 雅裕

Masahiro HIRATA / Scorpa



平田兄弟の年子の兄で、2006年IBチャンピオンとして2018年からIASを走っている。愛知県出身38歳。今シーズンはまだ本来の実力を発揮できていない。そろそろ本格始動してくれるはず。

20

磯谷 郁

Kaoru ISOGAYA / Beta

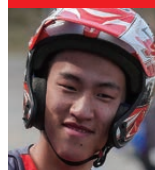


小学生時代から兄である#16磯谷玲のアシスタントとして全日本で活動、トライアルとともに育った。2022年からIASを走り、2023年にはSSにも進出した。大学を卒業したばかりの静岡県出身、22歳。

22

宮澤 陽斗

Haruto MIYAZAWA / Beta



2017年TRGC優勝、2019年からIAを走った。大学生時代のIA参戦で着実に実力をつけ、2024年IAランキング2位でIAS入り。第3戦では早くも10位となってSSに進出した。茨城県出身の21歳。

国際A級 International A Class

百戦錬磨の大ベテラン、熟練の名手、若手、そしてルーキーと、さまざまな才能がしのぎを削るこのクラス。開幕戦は、並みいるベテラン勢を尻目に、IA 5年目の高橋寛冑が2勝をあげて、若い勢力の存在を示している。この勢が続くのか、はたまたベテラン勢の巻き返しになるか。興味はつきない。

1

平田 貴裕

Takahiro HIRATA / Scorpia



IASでの負傷から2024年にIAでの復帰緒戦に勝利してランキング3位を得た。愛知県の36歳。2006年IBチャンピオン、今年はもうひとつタイトルをコレクションに加えるべくIAでの戦いに集中する。

3

小野 貴史

Takashi ONO / Honda



砂田と同じくATJレーシング所属、名門、クルーズ所属でもある。宮城県出身46歳。藤波貴久、小川友幸、黒山健一が腕を磨いたブラック団出身。2024年ランキング5位。2025年第3戦で優勝。

6

中里 侑

Yu NAKAZATO / TRRS



2014年から国際A級を走る栃木県出身28歳。2011年TRGC優勝、IAでの最上位は2024年SUGOで、自身初の3位表彰台を獲得している。第2戦では4位に入り、今回はさらなる上位を目指す。

7

高橋 寛冑

Hiroki TAKAHASHI / Sherco



15歳で選手権活動を始め、16歳でTRGC2位、17歳でIB3位と急成長。2021年、18歳からIA。開幕戦で初優勝、第3戦にも勝利した。今年はSSDTにも挑戦した神奈川県出身の22歳。

12

坂井 翔

Sho SAKAI / TRRS



長崎県出身の21歳。次世代全日本を担うひとり。15歳でIBに昇格、翌年すぐIAに昇格してきた。父と兄もライダーのトライアル一家に育った。そろそろ表彰台にも乗れるかも。九州長崎からの大遠征組。

15

黒山 太陽

Tao KUROYAMA / Sherco



兄ふたり、父、叔父さん、お爺さんがみんな国際A級。弱冠13歳ながら、選手権に参戦を開始して4年でIA昇格を決めた。今年はIA3年目。2025年第2戦では5位入賞して、確実に実力上昇中。

17

小谷 徹

Tetsu ODANI / Montesa



トライアル選手会代表にして大ベテラン。主催や運営にも尽力していて、今シーズンは開幕戦を欠場しながらランキング11位まで浮上してきた。若きはマジシャンと呼ばれていたぶし銀。京都府出身の59歳。

33

村田 隼

Hayato MURATA / Vertigo



三重県出身22歳。2023年IBチャンピオン獲得でIAに昇格し今年は2年目。今年はマシンを再びヴェルティゴにして参戦。第2戦では10位入賞。初めてのトップ10入りを果たした。

02

永久保 圭

Kei NAGAKUBO / Beta



ジュニアライセンスから一足飛びにIB昇格、IB2年目でIAに昇格した天才13歳。静岡県出身。IASを走っていた恭平が父で、トライアル一家に育つ。第2戦で3位表彰台に上がる大金星。

レディース Ladies Trial Class

10年目を迎えた全日本レディース。皆勤賞で参加を続けているのは小玉絵里加一人だが、着々と新しい才能が現れ、このクラスを盛り上げている。そしてこの10年、各方面のみなさんの尽力・努力のおかげで、日本レディースの実力は確実にあがってきている。進化は、今後も続いていく。

2

中川 瑠菜

Runa NAKAGAWA / Beta



2023年にIB昇格を決めたが、今年はレディースの王座を目指す。2024年、3勝をあげながら最終戦のマシントラブルでタイトルを逃した愛知県出身の大学生。開幕3連勝中の今シーズンのチャンピオン最右翼。

4

小玉 絵里加

Erika KODAMA / TRRS



創設前からレディーストライアルの普及に尽力したこのクラスの牽引役にして、長くトップクラスを争う。メディアへの登場も活発で、活躍の場は2輪のみならず非常に広い。2020年近畿選手権でIBに昇格。奈良県出身。

10

兼田 歩佳

Honoka KANEDA / TRRS



全日本レディースクラス参戦2シーズン目。昨シーズンに多くの教訓を得て、2025年は一気に表彰台へとコマを進めた。地元近畿選手権では、国内A級で優勝するトップライダーで、ランキングでもトップ争い中。

国際B級 International B Class

若手から大ベテランまでがしのぎを削るこのクラス、若手の元気とベテランの技が競い合うのが魅力だが、今年は若手の活躍が目立っている。開幕3戦、優勝はいずれも10代選手。若いパワーの爆発が楽しみ。と同時に、試合慣れをした百戦錬磨のベテラン勢の巻き返しにもごうご期待だ。

2

小倉 功太郎

Kotaro OGURA / Honda



近年は学業の関係もあって全戦参加はかなわすが、2024年は3戦のみに参加してゼッケン2をゲットした。兵庫の社会人となった今年はいまひとつ本領発揮に至らずだがランキング5位につける。自転車レースにも参戦しているから、体力は充分の26歳。

3

寺澤 迪志

Yushi TERAZAWA / Beta



13歳の成長株。全日本は2年目。開幕戦5位、第2戦2位、そして第3戦優勝と成績も尻上がりで2025年ランキングのトップに立った。今年の全日本IBクラスの台風の目存在。愛知県出身。IASも走ったTRProductの寺澤慎也の長男になる。

37

木村 倭

Yamato KIMURA / Sherco



2024年GC優勝で一気にIBに昇格。開幕戦2位、第2戦優勝を果たし、第3戦を欠場して世界選手権T3クラスにも初参戦、確実にポイントを獲得する実力を発揮した。IA木村大輔を父に、初代全日本チャンピオン木村治男を祖父に持つ。

エントリーリスト

IAS

国際A級 スーパー

10セクション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）+SS×2セクション

セクション	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	スタート時間
1	小川 友幸	オガワトモキ	三重 TEAM MITANI Honda	Honda	RTL301RR	田中 裕大	9:31
2	黒山 健一	クロヤマケンイチ	兵庫 Yamaha Factory Racing Team	YAMAHA	TY-E 3.0	黒山 陸一	9:32
3	氏川 政哉	ウジカワセイヤ	三重 YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YAMAHA	TY-E 3.0	田中 裕人	9:30
4	小川 毅士	オガワツヨシ	茨城 Wise Beta Racing	Beta	Evo 2T	山崎 頌太	9:28
6	柴田 暁	シバタアキラ	大阪 TEAM TRRS & NILS OIL	TRRS	2025 TRRS ONE RR	吉野 昌宏	9:25
7	武田 呼人	タケダヨヒト	三重 TEAM MITANI Honda	Honda	RTL300RR	加賀 国光	9:26
8	野崎 史高	ノザキフミタカ	埼玉 Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	YAMAHA	TY-E 2.2	関口 康太	9:29
9	久岡 孝二	ヒサオカコウジ	岐阜 HRC クラブ MITANI	HONDA	RTL301RR	久岡 誠二	9:27
10	黒山 陣	クロヤマジン	兵庫 ShercoJapan	Sherco	125ST	黒山 二郎	9:15
11	武井 誠也	タケイマサヤ	埼玉 FINE&SWM&BETA	BETA	Evo 2T	武井 明信	9:23
12	田中 善弘	タナカヨシヒロ	石川 HRC クラブばわあくらふと & ホンダドリーム八尾	Honda	RTL301RR	松谷 実	9:24
13	岡村 将敏	オカムラマサトシ	栃木 TEAM TOPDOGS	sherco	ST	高山 和広	9:18
14	野本 佳章	ノモトヨシアキ	群馬 モトベント & BETA	BETA	Evo 2T		9:22
15	浦山 瑞希	ウラヤマミスキ	山形 HRC クラブ MITANI & 荘内	HRC	RTL301RR	浦山 和巳	9:20
16	磯谷 玲	イソガヤアキラ	静岡 Beta TRProduct	Beta	Evo 2T	磯谷 豊	9:16
17	平田 雅裕	ヒラタマサヒロ	愛知 チームエクセル	SCORPA	SC-F300	平田 篤	9:19
20	磯谷 郁	イソガヤカオル	静岡 Beta TRProduct	Beta	Evo 2T	小林 諒平	9:17
22	宮澤 陽斗	ミザヅハルト	茨城 Wise Beta Racing	Beta	Evo 2T	宮澤 富士夫	9:21

IA

国際A級

10セクション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）

セクション	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	スタート時間
1	平田 貴裕	ヒラタタカヒロ	愛知 チーム エクセル	SCORPA	SC300FACTORY		9:08
2	砂田 真彦	スナダマサヒロ	栃木 ATJ Racing&HRC クラブ Cruise	Honda	RTL301RR		9:05
3	小野 貴史	オノタカシ	栃木 ATJ Racing&HRC クラブ Cruise	Honda	RTL301RR	竹屋 健二	9:09
6	中里 侑	ナカザトユウ	栃木 TEAM NAMITA&NAKAZATO	TRRS	ONE RR	西賀 順一郎	9:04
7	高橋 寛牙	タカハシヒロキ	神奈川 Sherco Japan	SHERCO	ST-F	高橋 孝一	9:10
9	尾藤 正則	ビトウマサノリ	岡山 club MWM	SHERCO	ST-F300 FACTORY		9:00
12	坂井 翔	サカイショウ	長崎 TRRS WITH RIDEMAGIC	TRRS	TRSI 300	坂井 裕輔	8:59
14	高橋 健啓	タカハシタケヒロ	岩手 HRC クラブ荘内	Honda	RTL301RR		8:58
15	黒山 太陽	クロヤマタオ	兵庫 ShercoJapan	SHERCO	25年 Sherco ST-250	滝口 輝	9:06
17	小谷 徹	オダニテツ	京都 モッツ&アズーロ	Honda	RTL300	神野 秀樹	9:02
19	倉持 晃人	クラモチアキト	埼玉 TEAM TOP DOGS	GASGAS	TXTPRO	倉持 等	8:55
21	小野田 理智	オノダマサノリ	千葉 SHERCO JAPAN ORAGA VALLEY MTO-2	SHERCO	ST-F		9:03
22	波田 親男	ナミタチカオ	兵庫 チーム ナミタ TRRS	TRRS	ラガ300RR		8:54
02	永久保 圭	ナガクボケイ	静岡 TEAMBIGBOX BETA	Beta	Evo 2T	永久保 恭平	9:07
03	陳 文懋	チェンウェンマオ	大阪 HRC クラブばわあくらふと & ホンダドリーム八尾	Honda	RTL301RR	小玉 健二	8:56
04	袋井 就介	フクロイシュウスケ	神奈川 IRC タイヤ	EM	Epure Race		8:53
05	田上 拓	タノウエタク	埼玉 白井 HED トライアル部&福オレンジファーム	Montesa	COTA301RR		8:52
31	小谷 一貴	コタニカズキ	京都 モッツ & アズーロ	Honda	RTL301R		8:51
32	神長 勲摩	カミナガエマ	栃木 TEAM TOP DOGS	SHERCO	ST250	神長 利行	8:46
33	村田 隼	ムラタハヤト	三重 VERTIGOwithMITANI	Vertigo	NITRO 2.5	猪股厚太	9:01
34	鈴木 克敏	スズキカツシ	神奈川 HRC クラブ関東 SW まるやま	Honda	RTL300R	鈴木 美雄	8:57
36	佐伯 竜	サエキリュウ	北海道 mxbuild with iRC	Beta	Evo 2T 300 factory		8:45
37	松本 龍二	マツモトリュウジ	静岡 VICTORY	YAMAHA	TY250Z	市川 正尚	8:49
44	吉本 由輝	ヨシモトユウキ	静岡 Victory	YAMAHA	TY250Z	吉本 貴裕	8:50
53	川添 蒼太	カワゾエソウタ	三重 VELTIGO with MITANI	Vertigo	NITRO		8:48
54	小野田 瑞希	オノダミスキ	千葉 TOPDOGS&MTO-2	Honda	RTL300R		8:47

全日本トライアル選手権 第4戦 北海道・和寒大会

LTR レディース 10セクション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）

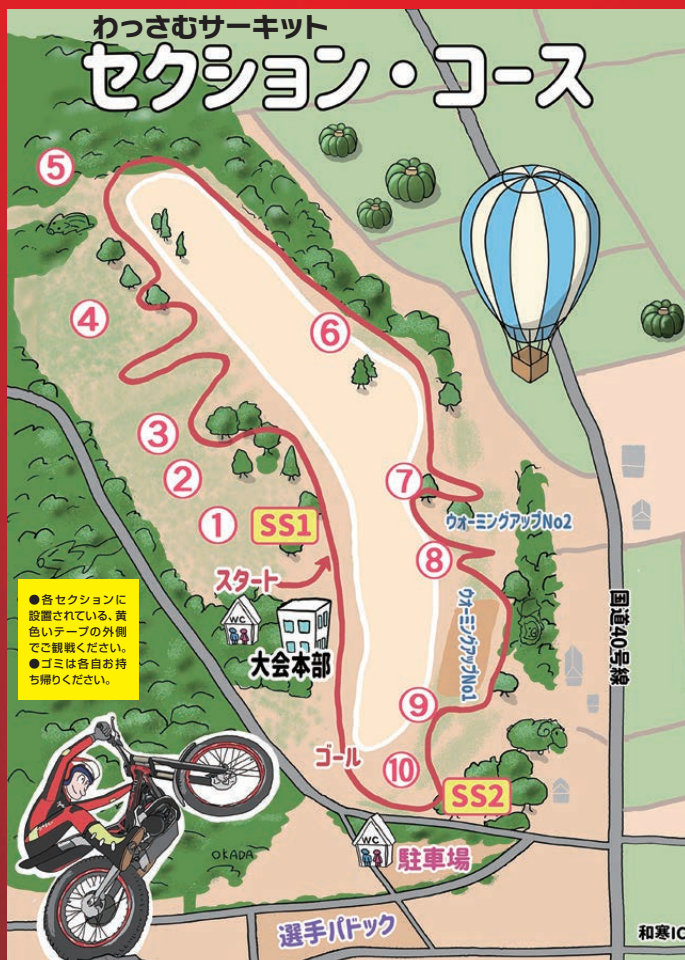
ゼッケン 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	スタート時間
2 中川 瑠菜	ナカガワルナ	愛知 Wise Beta Racing	Beta	Evo 2T	中川 芳治	8:44
4 小玉 絵里加	コダマエリカ	奈良 チームばわあくらふと	TRRS	TRRS ONE RR	藤原 慎也	8:43
5 齋藤 由美	サイトウユミ	東京	Beta	Evo 2T		8:41
9 木村 亜紀	キムラアキ	岩手 はちのへトライアルクラブ with 新日本雑技団	TRRS	RAGA RACING 250	道又 貢	8:40
10 兼田 歩佳	カナダホノカ	奈良 Team そらしど	TRRS	RAGA RACING-E250	兼田 賢治	8:42

IB 国際B級 10セクション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）

ゼッケン 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	スタート時間
1 大櫃 千明	オオビツチアキ	愛知 知多トライアルクラブ	Montesa	COTA301RR		8:33
2 小倉 功太郎	オグラコウタロウ	愛知 TEAM MITANI	Honda	RTL300R	小倉 暁	8:34
3 寺澤 迪志	テラザワユウシ	愛知 Team Beta TRproduct	Beta	Evo 2T 250 Factory	寺澤 慎也	8:37
11 栗原 賢司	クリハラケンジ	群馬 上州トライアル&モトベント	Honda	RTL260 R		8:27
16 藤川 一夫	フジカワカズオ	栃木 TEAM TOPDOGS	Beta	Evo 2T		8:26
28 関口 匠	セキグチタクミ	埼玉	Montesa	COTA4RT		8:31
33 兼平 隼人	カネヒラハヤト	岩手 HRC クラブ荘内	Honda	RTL301RR		8:16
35 大西 弘晃	オオニシヒロアキ	岡山	EM	epure		8:25
37 木村 優	キムラヤマト	静岡 SHERCO JAPAN & RIDER' S	SHERCO	ST-F125	木村 大輔	8:36
38 佐藤 定光	サトウサダミツ	宮崎	SHERCO	st3.0		8:19
42 袋井 棕介	フクロイリョウスケ	神奈川 IRC タイヤ	SHERCO	STR250	袋井 賢悟	8:30
43 中谷 博彦	ナカヤヒロヒコ	長野 Bells Racing & MITANI	Honda	RTL260R		8:24
46 武内 祐徳	タケウチヒロノリ	埼玉 白井 HED トライアル部 & OragaValley	TRRS	ONE-RR250		8:18
48 宮嶋 清次	ミヤジマキョウジ	静岡 club MWM	SHERCO	ST-R		8:23
49 岡 直樹	オカナオキ	群馬 モトベント & チームペコ	Beta	Evo 2T	岡 章広	8:35
64 田中 聖志	タナカキヨシ	東京 チーム羽生山	Beta	Evo 2T 300		8:29
67 鈴木 崇史	スズキタカシ	愛知 アンドアッブ	Beta	Evo 2T		8:32
73 山下 修	ヤマシタオサム	千葉 BCK Buddy Garage46	SCORPA	SCT		8:28
79 荒生 和人	アラオカスト	山形 HRC クラブ荘内 & ホンダドリーム酒田	Honda	RTL300R		8:17
80 市村 謙太郎	イチムラケンタロウ	栃木 Bergbach/ 嵐山不老天狗	Beta	Evo 2T		8:22
82 長谷部 佑弥	ハセベユウヤ	埼玉 Honda ブルーヘルメット MSC	Honda	RTL300R		8:21
83 長谷川 翔馬	ハセガワショウマ	静岡 ヤマハ発動機トライアルクラブ* & トライアルライダース	Honda	RTL260R	小淵 颯輝	8:20
92 後藤 潤一	ゴトウジュンイチ	群馬 上州トライアル	TRRS	RAGA RACING250		8:15
94 上嶋 和幸	ウエシマカズキ	神奈川	Honda	RTL300R		8:14
100 国領 孝	コクリョウタカシ	神奈川 ライディングマスター	TRRS	250RR-E		8:13
110 横倉 千裕	ヨコクラチヒロ	栃木 ATJ Racing&HRC クラブ Cruise	Honda	RTL300R		8:12
119 内田 尚志	ウチダヒサシ	北海道 JAM Racing	Beta	Evo 2T		8:11
120 池津 賢尚	イケツヨシナオ	北海道 トライアルスポーツクラブ札幌 林自動車札幌 TESIO	TRRS	ONE300RR		8:10
121 佐藤 篤	サトウアツシ	北海道	Beta	Evo 2T 300		8:09
122 村田 睦夫	ムラタムツオ	岩手 TRC(65)	Beta	Evo 2T 300		8:08
123 福本 篤	フクモアツシ	北海道 TSCS	TRRS	ONE GOLD 300		8:07
124 渡辺 洋輔	ワタナベヨウスケ	北海道	GASGAS	TXT PRO 300		8:06
125 木戸 茂	キドシゲル	北海道 TEAM Rumi2	Honda	RTL300R		8:05
126 近藤 年治	コンドウシバル	北海道 函館トライアルクラブ	SCORPA	SC レーシング		8:04
127 三野 敏治	ミノトシバル	香川 BP 香川	Beta	Evo 2T		8:03
128 北野 高則	キタノタカノリ	北海道 北海道 遠軽トライアルクラブ	Sherco	ST300		8:02

OT オープントロフィー NA

ゼッケン 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	スタート時間
1 矢吹 睦夫	ヤブキムツオ	宮城 小川部 with 510	Honda	RTL300R		8:01
2 曾根 信行	ソネノブユキ	宮城 小川部	Honda	RTL260R		8:00



①～⑩

セクション (採点区間)

10セクション×2ラップ
持ち時間: 4時間 30分

スタート時間 (1分1台・順次スタート)

オープントロフィー NA	8:00 ~
IB 国際B級	8:02 ~
LTR レディース	8:40 ~
IA 国際A級	8:45 ~
IAS 国際A級スーパー	9:15 ~

SS1 SS2

SS (スペシャル・セクション)

国際A級スーパーの
上位 10 名のみ

SS1 14:20 ~

- ◎ SS1 よりトライ (1 回のみ)
- ◎ 全員のトライを終えたら SS2 へ移動します
- ◎ SS2 が終わると IAS の競技結果が出ます

2025 から自由度が増した「新ルール」に変革されている

2025 年、MFJ トライアルルールは変革した。規則の変更を知っていると、観戦も楽しいはず。

まず、バックができるようになった。バックしながら足をついたら失敗 5 点だが、バックができることで難所走破の自由度も増している。ライダーの実力を、さらに実感できるルールになっている。

そしてこれまで、自分のゲート (IAS なら赤地に黄文字など) 以外の他クラスゲートは通っても通らなくても OK だったが、2025 年ルールでは他クラスゲートを通過したら失敗 5 点となることになった。セクションに点在するゲートの種類を確認しながら観戦すると興味も深まる。

そしてさらに、2025 年ルールでは、ループといわれる、セクション内をぐるぐる回る走り方が OK になった。戦いがどう変革するか、興味はつきない。

- 減点 0 (クリーン) 1 分以内にセクション (採点区間) 内を、足を着くことなく通過
- 減点 1 1 分以内に足つき (腕や頭も同様) 1 回のみでセクションを通過
- 減点 2 1 分以内に足つき (腕や頭も同様) 2 回のみでセクションを通過
- 減点 3 1 分以内に足つき (腕や頭も同様) 3 回以上でセクションを通過
- 減点 5 落車、セクション離脱、足つき後退、セクション走破に 1 分以上かかったなど "失敗" した場合
- 加算ペナルティ ライダーまたはアシスタントが故意にセクション地形を変化させた場合
- 持ち時間 スタートからゴールまで、各ライダー同じ持ち時間。1 分超過ごと 1 点減点
- 合計減点数 各クラスの全セクションの減点数の最も少ない者より高い順位がつけられる
- 同点の順位決定 クリーン数が多い者が上位。以下、1 点、2 点の数が多いほうが上位。すべて同じなら競技時間が短い者が上位
- アシスタント コース上では唯一マシンに触れることができる。ライダーのトライ時にセクションに入り、失敗の際の手助けが可
- その他の失敗 マグネットキルスイッチが外れた、通過ゲートの誤りなど

主なトライアル用語とルール



〒098-0111 上川郡和寒町三笠103 TEL 0165-32-4166 ・ FAX 0165-32-3315

(有)和寒自動車工業

陸運局指定工場

上川郡和寒町字南町26番地
TEL 0165-32-2457

ご希望にお応えします

お気軽にお電話下さい

0165-32-6300

近くて便利、セブン・イレブンです



セブン・イレブン

和寒町店



BIKE the AMEYA
SINCE 1976

(株)アメヤモーターサイクル

URL <http://www.ameya.jp>

〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条11丁目1-2
TEL 011-852-6600 FAX 011-853-1400

北海道新聞・道新スポーツ・日本経済新聞

読売新聞・朝日新聞・道北日報・北都新聞



(株)北海道新聞
酒屋販売所

代表取締役 酒屋 英 樹

〒098-0132 上川郡和寒町字西町203番地

TEL 0165-32-2362

FAX 0165-26-7057

モトライフ

〒089-0116

北海道 上川郡清水町南8条6丁目3-5-1

TEL 0156-62-2333

花 *for*

- お祝い・葬儀スタンド花 ●アレンジフラワー
- 花束 ●仏花 他

上川郡和寒町字南町126番地
TEL 0165-32-2776

ホルモン焼肉店

平和軒

上川郡和寒町南町
TEL 0165-32-2346



毎度ありがとうございます

(有)酒向自動車工業

北海道運輸局指定整備工場
あいおいニッセイ同和損保(株)代理店
〒098-0131

上川郡和寒町字南町50番地

TEL:0165-32-2173
FAX:0165-32-2691



株式会社丸ノ商会 和寒農機株式会社

〒098-0133 上川郡和寒町字北町61番地

TEL 0165-32-2481
FAX 0165-32-4234

ゲストハウス



<https://sekireikan.com>



バス停まで徒歩5分
道道72号旭川幌加内線に隣接した
会員制トライアルパーク

旭川トライアルクラブ トレーニングゾーン

上川郡鷹栖町2890番13
マップコード: 79635253*82

SHERCO



ST-F FACTORY 2025 軽い、楽しい。 実績と信頼のシェルコ FACTORY

徹底した軽量化と、年々進化するトライアルテクニックに対応する車体バランス。細部に渡る構成パーツの信頼性。MY2025 シェルコトライアル STシリーズ、コンペティション標準仕様「ファクトリー」を発売します。2024年はジャック・プライスが世界で最も過酷とされるスコットランド6日間トライアル(SSDT)で優勝し、世界選手権 Trial2 ではジャック・プライスがワールドチャンピオンを獲得。世界選手権女子 TrialGP ではエマ・プリストが10回目の世界タイトルを獲得。Shercoのパフォーマンスと信頼性は世界各国で証明されています。MY2025は、250ccと300cc共に排気システムの変更でエンジンブレーキを軽減。新しいマッピングにより慣性の増加したスムーズで乗りやすいパワーフィーリングになり、ハードモードとソフトモード切り替えのコントラストがより明確になりました。

MY2025 TRIAL ST-F

ST-F 125 Factory ¥1,276,000 (税込)
ST-F 250 Factory ¥1,298,000 (税込)
ST-F 300 Factory ¥1,320,000 (税込)

※配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。



ATJ AUTO TECHNIC JAPAN



走る技術、上る未来。
モビリティの未来を自分の手で。

AIROH



MFJ 公認
ヘルメット



Airoh Trr S KEEN
BLUE/RED GLOSS

¥43,780 (税込)



Airoh Trr
PURE ORANGE MATT

¥40,590 (税込)



Airoh Trrs
COLOR MAT BLACK

¥39,600 (税込)



Airoh Trr S KEEN
YELLOW MATT

¥43,780 (税込)



Airoh Trrs
COLOR WHITE

¥39,600 (税込)

●サイズ：XS(53-54)・S(55-56)・M(57-58)・L(59-60)・XL(61-62)・XXL(63) ●重量：850g



POWER CRAFT ぱわあくらふと

〒574-0025 大阪府大東市御供田3-17-37
TEL 072-872-2141 FAX 072-870-5236
E-mail info@power-craft.co.jp

www.power-craft.co.jp



当店は、HRC（株式会社ホンダ・レーシング）から認定を受けた、HRC製品正規取扱店（サービスショップ）です。
当店で、サービスショップだけが可能なHRC二輪製品の販売からメンテナンスに加え、各種HRCパーツやHRC補修パーツの販売まで、HRCの正規取扱店として皆様のレーシングシーンを強力にサポートします。



携帯サイト



Shinya Fujinara



Erika Kodama



M341LF 75W (PRO仕様)

トライアル車・モトクロッサー等のミッションに使用することを目的とした製品で、低粘度MTFのM341 75Wをベースに、さらに低粘度化を促進し、クッション性等の付与を目的として採用したベースストックTRB0973をあえて除き、ミッション操作における動きをさらにリアに反応すべく設計されています。これらの特性は究極のトライアル車両におけるクラッチ操作においてもアドバンテージをもたらしています。

M342 75W (小玉絵里加モデル)

M341LFの最大の特性である、操作におけるリアな反応性を穏やかにし、操作性を重視した製品です。

Moty's
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

株式会社 トライボジャパン

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-25-4

■TEL: 03-3806-8277 ■営業時間: 10:00~17:00 ■定休日: 土曜・日曜・祝祭日

ひとつ一つのタイヤに 情熱と誇りを込めて。

ジョン・ボイド・ダンロップが実用化した

空気入りタイヤの誕生から130年以上、

オンロードやオフロード

ミニバイクからリッターバイクまで、

あらゆるバイクの足元を

支え続けてきたDUNLOP。

先端技術への挑戦と

厳しい品質管理のもとに

600を超えるサイズラインアップを保有。

タイヤの限界性能が問われる

スーパースポーツに限らず、

走りの質感にこだわるツーリングから

日常的なシティユースまで。

これからも情熱と誇りを込めて

ライダーの走りを支え続けます。



DUNLOP

<https://dunlop-motorcycletyres.com/>



速くなりたい! レースで勝ちたい!
その真剣な眼差しを全力でサポート
We're BLU CRU Members!



**YZシリーズ アマチュアライダー
レース活動サポートプログラム BLU CRU**
—“Motocross & Enduro”—

今すぐ BLU CRU(ブルー・クルー)にメンバー登録しよう!

BLU CRUはレース好成績者への用品クーポン贈呈をはじめ、ライディングスクールの開催、レース会場でのセッティングやライディングのアドバイス、万の際の部品貸与など充実したメニューで、皆さまのレース活動を全面的にサポートするプログラムです。

メンバー登録資格 BLU CRUは、ヤマハオフロードコンペティションモデル正規取扱店にて、YZシリーズ2023年モデル(2022年発売)以降を新車でご購入されたお客さまのみご登録いただけます。

※詳しくはウェブサイトの対象モデル一覧をご覧ください。 ※2025年2月1日現在

BLU CRU メンバー 特典

BLU CRU 特典 1

該当レースで1~3位を獲得したメンバーに用品クーポンを贈呈

レーシング 特典 2

サービス

セッティングやライディングのアドバイス、部品貸与などのサポート

モトクロス 特典 3

ライディングスクール

レースを想定したメニューをメンバー価格で受講可能

リザルト掲載 特典 4

BLU CRU賞対象レースの上位入賞者を公式サイトに掲載

BLU CRU 特典 5

アイロシワッペン贈呈

ウェアなどに貼れるBLU CRUメンバーの証ワッペンを贈呈

詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/blucru/>



YZシリーズ各モデルは、このサインのあるヤマハオフロードコンペティションモデル正規取扱店でお願いいたします。
※詳細はヤマハホームページをご覧ください。

ヤマハ発動機株式会社 カスタマー コミュニケーション センター
〒438-8501 静岡県磐田市幸井2500 ☎ 0120-090-819
受付時間: 月曜~金曜 (祝日、弊社所定の休日等を除く) 9:00~12:00 13:00~17:00

製品情報やキャンペーンの詳細はWEBにてご確認ください。
www.yamaha-motor.co.jp/mc/ ヤマハ発動機販売株式会社

competition TR-011z

エキスパートライダーによるトライ & エラーと
CAE 解析によりピギナーからエキスパートま
で幅広いユーザーに扱いやすい仕様を追究。

competition TR-011z PLUS

TR-011zの基本性能はそのままに、トップ
ライダーのテクニックに追従するためのIRC
テクノロジーを「PLUS」。挑戦を恐れないラ
イダーのために生まれた。

This is where it all begins.



IRCTIRE.JP

アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社

New Model Debut

PROJECT BIG1

SINCE 1992

Final Edition

ビッグワンであること。

新車3年保証 ETC2.0標準装備 photo: CB1300 SUPER BOL D'OR SP Final Edition color: パールサンビームホワイト

CB1300 SUPER BOL D'OR SP Final Edition 現金販売価格 ¥2,211,000
(消費税込本体価格 ¥2,010,000)

CB1300 SUPER BOL D'OR Final Edition 現金販売価格 ¥1,837,000
(消費税込本体価格 ¥1,670,000)

新車3年保証 ETC2.0標準装備 photo: CB1300 SUPER FOUR SP Final Edition color: パールサンビームホワイト

CB1300 SUPER FOUR SP Final Edition 現金販売価格 ¥2,101,000
(消費税込本体価格 ¥1,910,000)

CB1300 SUPER FOUR Final Edition 現金販売価格 ¥1,727,000
(消費税込本体価格 ¥1,570,000)

本車両は受注期間限定モデルであり、受注期間は終了しております。各店の在庫のみとなりますので、お気軽にお問い合わせください。

Honda E-Clutch クラッチ操作は次の次元へ

CB650R 新車3年保証

photo: CB650R E-Clutch
color: パールティーンブラックグレー



CB650R E-Clutch
現金販売価格 ¥1,089,000
(消費税込本体価格 ¥990,000)

CBR650R 新車3年保証

photo: CBR650R E-Clutch
color: グランプリレッド



CBR650R E-Clutch
現金販売価格 ¥1,188,000
(消費税込本体価格 ¥1,080,000)
マットバリスティックブラックメタリック
現金販売価格 ¥1,155,000
(消費税込本体価格 ¥1,050,000)

rebel 新車3年保証 製造国/タイ

photo: Rebel 250 E-Clutch
color: マットプレスコプラウ



Rebel 250 E-Clutch
現金販売価格 ¥693,000
(消費税込本体価格 ¥630,000)

photo: Rebel 250 S Edition E-Clutch
color: パールシャイニングブラック



Rebel 250 S Edition E-Clutch
現金販売価格 ¥731,500
(消費税込本体価格 ¥665,000)

新車3年保証 Honda Dreamご購入いただいた新車には、メーカー保証の2年に、プラス1年の延長保証をお付けいたします。(※125cc以下除く) 保証対象 Honda125cc以上の新車国内モデル全機種、Honda Dreamで法定およびHondaが指定する油類を使用した車両、Honda Dreamで買い上げの車両(保証書と車両名義が同一) 保証期間 新車を登録または輸出した日から3年間(右方角の制限あり) ETC2.0標準装備 ETCを使用するにあたり、セットアップ、費用および決済用のETCカードが必要となります。 ※価格はすべて現金販売価格です。※二輪車の価格(リサイクル費用を含む)には保険料・税金(消費税を除く)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。※販売価格は一例であり、掲載店各店はそれぞれ独自に定めております。 ※販売価格につきましては、掲載店各店までお尋ねください。 ※写真は印刷のため、実際の色と異なる場合があります。



Honda Dream 免許取得 サポートキャンペーン

排気量に応じて2~4万円
車両購入費をサポート!!

実施期間
2025 3/1〔SAT〕▶ 9/30〔TUE〕

○ご購入の期間は2025年10月31日(金)まで

※写真は海外仕様車で、海外で撮影したものです。
※写真はあくまでイメージで、一部のアksesサリーは日本未発売となります。
Photo:CB650R E-Clutch



※写真は、CL250 カスタマイズの一例です。



Honda Dream

用品購入 サポートキャンペーン

200cc~250cc
免許取得と新車購入で
3万円分をサポート!

実施期間
2025 3/1〔SAT〕▶ 9/30〔TUE〕

○ご購入の期間は2025年10月31日(金)まで

Shop Information

Honda Dream 旭川

〒078-8372
北海道旭川市旭神2条5-7-14

TEL: **0166-69-4488**

Honda Dream 小樽

〒047-0021
北海道小樽市入船1-6-19

TEL: **0134-24-1375**

Honda Dream 札幌西

〒063-0052
北海道札幌市西区宮の沢 4条 1-1-27

TEL: **011-665-3751**

Honda Dream 札幌

〒003-0834
北海道札幌市白石区北郷4条2-2-1

TEL: **011-871-0055**

Honda Dream 帯広

〒089-0536
北海道中川郡幕別町札内西町60

TEL: **0155-24-1775**



Honda Dream

